１．承認番号　第Ｓ151号
２．名称　岩手東亜ＤＫＫ株式会社
３．住所　岩手県遠野市綾織町躺崎９地割９番地３
４．特定計量器の種類　ガラス電極式水素イオン濃度検出器

国立研究開発法人産業技術総合研究所公告第53号

計量法（平成４年法律第51号）第89条第１項の規定に基づき、平成27年12月７日付けをもって次のように特定計量器の型式を承認したので同法第159条第１項第５号の規定に基づき公告する。

平成 27 年 12 月 25 日

国立研究開発法人産業技術総合研究所
理事長　中鉢　良治

１．承認番号　第Q1514号
２．名称　愛安徳電子（深圳）有限公司
３．住所　Datianyang Industrial Zone, Tantou Village, Songgang Town, Baoan District, Shenzhen, Guangdong Province, CHINA
４．特定計量器の種類　アネロイド型血圧計

型式部材等製造者の認証に関する公示

一般財団法人日本建築センター公示第製129号

建築基準法（昭和25年法律第201号）第68条の11第１項の規定により型式部材等製造者の認証を行ったので、建築基準法施行規則（昭和25年建設省令第40号）第10条の５の７第１項の規定に基づき、認証を受けた型式部材等の種類、認証年月日、認証を受けた者の氏名又は名称及び認証番号を次のとおり公示する。

平成 27 年 12 月 25 日

一般財団法人日本建築センター
理事長　松野　仁

建築基準法施行令第136条の２の11第１号に掲げる建築物の部分（認証年月日：平成27年８月28日）

積水化学工業株式会社
製010101Abba0011822、製010101Abba0013545
製010101Abba0014025、製010101Abba0014323
製010101Abba0014421、製010101Abca0011288
製010101Abca0011299、製010101Abca0011438
製010101Abca0011448、製010101Abca0011478
製010101Abca0012068、製010101Abca0013536
製010101Abca0013556、製010101Abca0013645
製010101Abca0013746、製010101Abca0013826
製010101Abca0013906、製010101Abca0014025
製010101Abca0014204、製010101Abca0014224
製010101Abca0014302、製010101Abca0014323
製010101Abca0014342、製010101Abca0014421
製010101Abca0014422、製010101Abbb0011822
製010101Abbb0012102、製010101Abbb0013545
製010101Abbb0013825、製010101Abbb0014123
製010101Abbb0014221、製010101Abcb0011288
製010101Abcb0011299、製010101Abcb0011438
製010101Abcb0011448、製010101Abcb0011478
製010101Abcb0012068、製010101Abcb0013536
製010101Abcb0013556、製010101Abcb0013645
製010101Abcb0013746、製010101Abcb0013806
製010101Abcb0013826、製010101Abcb0014025
製010101Abcb0014204、製010101Abcb0014224
製010101Abcb0014302、製010101Abcb0014322
製010101Abcb0014323、製010101Abcb0014342
製010101Abcb0014421、製010101Abbc0011348
製010101Abbc0011621、製010101Abbc0011825
製010101Abbc0012906、製010101Abbc0012926
製010101Abbc0013046、製010101Abbc0014102
製010101Abbc0014122、製010101Abbc0014142
製010101Abcc0011448、製010101Abcc0013006
製010101Abcc0013026、製010101Abcc0013146
製010101Abcc0014302、製010101Abcc0014322
製010101Abcc0014342、製010101Abbe0013025
製010101Abce0013025

大和ハウス工業株式会社
製010101Abbc0061445、製010101Abbc0061643
製010101Abbc0061653、製010101Abbc0062841
製010101Abbc0062842、製010101Abbc0062952
製010101Abbc0063051、製010101Abaa0640750
製010101Abba0640739、製010101Abba0640742
製010101Abba0640743、製010101Abba0640750
製010101Abba0640830、製010101Abca0640702
製010101Abca0640703、製010101Abca0640704
製010101Abca0640705、製010101Abca0640710
製010101Abca0640719、製010101Abca0640721
製010101Abca0640722、製010101Abca0640723
製010101Abca0640724、製010101Abca0640725
製010101Abca0640730、製010101Abca0640739
製010101Abca0640742、製010101Abca0640743
製010101Abca0640750、製010101Abab0640750
製010101Abbb0640739、製010101Abbb0640742
製010101Abbb0640743、製010101Abbb0640750
製010101Abbb0640830、製010101Abcb0640721
製010101Abcb0640722、製010101Abcb0640723
製010101Abcb0640724、製010101Abcb0640725
製010101Abcb0640730、製010101Abcb0640739
製010101Abcb0640742、製010101Abcb0640743
製010101Abcb0640750、製010101Abac0640750
製010101Abbc0640739、製010101Abbc0640742
製010101Abbc0640743、製010101Abbc0640750
製010101Abbc0640830、製010101Abcc0640721
製010101Abcc0640722、製010101Abcc0640723
製010101Abcc0640724、製010101Abcc0640725
製010101Abcc0640730、製010101Abcc0640739
製010101Abbe0640750

レスコハウス株式会社
製010101Acaa0020702、製010101Acba0020702
製010101Acca0020602、製010101Acab0020402
製010101Acbb0020402、製010101Accb0020202
製010101Acac0020402、製010101Acaa0030421
製010101Acba0030421、製010101Acba0030431
製010101Acca0030421、製010101Acca0030431
製010101Acab0030421、製010101Acbb0030421
製010101Accb0030221、製010101Acac0030421
製010101Acbc0030421

個人型年金規約の一部を変更する規約

平成 27 年 12 月 25 日　　国民年金基金連合会　理事長　永原　義之

個人型年金規約の一部を次のように変更する。

第30条第２項第４号の次に次の１号を加える。

五　私立学校教職員共済制度の加入者（厚生年金保険法第２条の５第１項第４号に規定する「第４号厚生年金被保険者」をいう。以下同じ。）

第30条第４項第２号ヘ中「（同項第４号に規定する「第４号厚生年金被保険者」をいう。以下同じ。）」を削る。

附　則

（施行期日）

第１条　この規約は、厚生労働大臣の承認があった日から施行し、平成27年12月２日から適用する。

（経過措置）

第２条　平成27年10月１日からこの規約の適用の日（次条において「適用日」という。）の前日までの間において第132条第１項の請求を行った者であって、当該請求を行った日において私立学校教職員共済制度の加入者（厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第２条の５第１項第４号に規定する「第４号厚生年金被保険者」をいう。次条において同じ。）であったものについて、第132条第１項の規定を適用する場合においては、同項第３号中「者に」とあるのは、「者（私立学校教職員共済制度の加入者を除く。）に」とする。

第３条　平成27年10月１日から適用日の前日までの間に第132条第１項の請求を行っていない者のうち、同月１日から適用日の前日までのいずれかの日において同項各号（私立学校教職員共済制度の加入者である場合にあっては、第３号を除く。）のいずれにも該当するに至ったもの（同年９月30日において同項各号のいずれにも該当し、かつ、同年10月１日において同項各号（私立学校教職員共済制度の加入者である場合にあっては、第３号を除く。）のいずれにも該当していた者（以下この条において「継続要件該当者」という。）を含む。）であって、次の各号のいずれにも該当するものが適用日から起算して６月を経過する日までの間において当該請求を行った場合（当該請求を行った日において同条第１項各号のいずれかに該当しない場合に限る。）における同項の規定の適用については、当該請求は、当該該当するに至った日（継続要件該当者にあっては、同年10月１日とする。第１号において「要件該当日」という。）において行ったものとみなす。この場合において、同項第３号中「者に」とあるのは、「者（私立学校教職員共済制度の加入者を除く。）に」とする。

一　要件該当日において私立学校教職員共済制度の加入者であったこと。

二　適用日において第132条第１項各号のいずれかに該当しないこと。

三　平成27年10月１日から適用日の前日までの間に第132条第１項の規定による脱退一時金の支給を受けていないこと。